

Labo News

らぼ ニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会
住所 名古屋市中村区名駅5-16-17
花車ビル南館 〒450-0002
電話 052-581-1013
FAX 052-586-5680
ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
取引銀行 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店
普通口座731-677
発行人 梶山広美
編集人 山田 真

No.407 目次

- ◆公益社団法人愛知県臨床検査技師会
学術部門・渉外部門 班員・事務局員・部員・
委員各募集のお知らせ……………(2)
- ◆会誌「らぼ」原稿募集……………(3)
- ◆地区だより……………(4)
- ◆第40回
生理検査研究班基礎講座に参加して……(5)
- ◆第57回愛知県糖尿病療養指導研究会
学術講演会……………(5)
- ◆平成27年度愛知県臨床検査精度管理調査
報告会および特別講演会のお知らせ……(6)
- ◆組織強化セミナー……………(7)
- ◆講演会……………(7)
- ◆AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会
通信(第39回)……………(8)

組織部活動について

組織部長 岩尾 文彦

愛臨技組織部は公益社団法人愛知県臨床検査技師会の定款に掲げられた事業において「県民の健康増進と衛生思想に関する普及啓発を行う事業」「会員並びに賛助会員向け事業」を主とした様々な活動の企画立案や実務のサポートを行っています。

まず、会員並びに賛助会員向け事業として平成27年4月に蒲郡竹島海岸にて清掃ボランティア活動、各地区における講演会・研修会、8月に検査説明・相談が出来る臨床検査技師育成講習会、9月に春日井市健康救急フェスティバル、10月に第37回スポーツ大会(ボウリング)及び懇親会、管理運営研修会、平成28年1月ニューイヤーパーティ、同じく1月に検査室における管理運営アンケートを実施致しました。次に、県民の健康増進と衛生思想に関する啓発を行う事業として、年間を通じてHIV抗体検査ボランティア、5月に世界禁煙デー街頭啓発キャンペーン、11月に検査と健康展をイオンモール熱田店で県民対象に各種検査の実施と医療職における臨床検査技師の職種を紹介し、将来を担う子供たちへ育成大学の紹介も実施致しました。人材育成を行う事業としては、検査説明・相談のできる臨床検査技師育成講習会を8月に名古屋医療センターにて開催し、管理運営研修会では個別化医療の発展により益々重要視される臨床検査の精度保証を如何に構築すべきかを討論しました。組織部は様々な活動を通じて、臨床検査技師の職能団体として組織の拡充を図り、会員増強運動を展開して組織強化に貢献しています。強い組織は一人ひとりの能力が欠かせないのは勿論ですが、技師会としての理念を共有し一体感を持って活動に参加することが重要と思います。今夏には臨床検査技師の組織力が試される場面に対峙することになりますが、会員諸氏のご協力を頂きまして、悲願達成に向け一致団結したいと存じます。最後に、会員の皆様には愛臨技が実施している各種活動にご理解、ご鞭撻を頂きながらご協力を切にお願い致します。

公益社団法人愛知県臨床検査技師会 学術部門・渉外部門 班員・事務局員・部員・委員各募集のお知らせ

公益社団法人愛知県臨床検査技師会
会 長 梶山 広美

愛知県臨床検査技師会は平成 28・29 年度下記の各部、部門の部員等を募集いたします。

研究班班員および事務局員（学術部門 学術部）

微生物、血液、生物化学分析、病理細胞、生理、一般、輸血、遺伝子染色体、生殖の 9 研究班および事務局員として活動。ただし応募者多数の場合は学術部にて調整いたします。

精度管理事業部 事務局員（学術部門 精度管理事業部）

事務局員の仕事の内容は、精度管理調査手引書や総括集の校正、試料発送の準備および発送作業、結果検討会の準備、精度管理報告会の準備などの活動。

組織部員（渉外部門 組織部）

組織部部員は県民を対象とした健康増進と衛生思想に関する普及啓発事業や会員・賛助会員の組織強化を目的とした活動。

ホームページ運営委員会委員（渉外部門 広報部）

ホームページ運営委員会は愛臨技ホームページの管理・運営。

記

募集人員：各若干名

申込方法：下記について記載し、メールにてご連絡ください。

メールアドレス aamt@aichi-amt.or.jp

申込締切：平成28年3月15日(必着)

応募記載事項：

- | | |
|--------------------------------|--------------------|
| 1. 希望する班員・局員・部員・委員 | 5. 施設名 |
| 2. 氏名（性別・年齢） | 6. 施設住所（郵便番号・電話番号） |
| 3. 会員番号 | 7. メールアドレス |
| 4. 技師年数（研究班班員については応募分野業務の経験年数） | 8. その他（応募動機など） |

※詳細については、各部長にお問い合わせ下さい。

問い合わせ先

学術部門

学術部：部長 滝野 寿

名古屋市立大学大学院

電話：052-853-8161

E-mail:htakino@med.nagoya-cu.ac.jp

精度管理事業部：部長 鈴木 博子

春日井市民病院 臨床検査技術室

電話：0568-57-0068（直通）

E-mail:bzk07103@mb.ccnw.ne.jp

渉外部門

組織部：部長 岩尾 文彦

名古屋医療センター 臨床検査科

電話：052-951-1111 FAX：052-951-0664

E-mail:kensaboss@nnh.hosp.go.jp

広報部：部長 山田 真

中京病院 検査部

電話：052-691-7151（内線 5211）

E-mail:gym.1172@gmail.com

会誌「らぼ」原稿募集

平成28年6月に刊行予定している会誌「らぼ」67巻 について次の要領で原稿を募集します。

1. 未発表の学術研究論文

- ・投稿規程は（一社）日本臨床衛生検査技師会発行の「医学検査」に準ずる。
- ・CDに入力し、CDと印刷したものを提出する。尚CDには施設名、氏名を明記する。

2. 会員業績（出版物・論文発表・学会発表）

- ・平成27年4月1日～平成28年3月31日までに発表されたもので、筆頭者が愛臨技会員で検査学術関連のものに限る。
- ・学会抄録は論文発表には含めず、学会発表の項に掲げる。
- ・所定のExcelに入力後CDにコピーし、CDと印刷したものを提出する。CDには施設名、氏名を明記する。

3. 入力ファイルについて

体裁は 愛臨技ホームページ「事務局からのお知らせ」に掲載しますので、そこからダウンロード（Excel形式）してください。（下記、入力例）

【論文】 氏名		雑誌名	巻	号	最初の頁～最後の頁	論文題名	共同研究者
筆頭者	雑誌名	巻	号	頁	論文題名	共同発行者	
愛臨技 太郎	検査と技術	43	1	1～10	〇〇における・・・	日 臨子・中 臨雄	

【出版物】 氏名		書名	最初の頁～最後の頁	題名	発行所
氏名	書名	頁	題名	発行所	
愛臨技 太郎	Medical Technology	1～10	〇〇における・・・	医試薬出版	

【学会・講演会・研修会】 氏名		回数を明記した学会名	開催月日	演題名	共同発表者
発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者	
愛臨技 太郎	第 64 回日本医学検査学会	5月16日 ～17日	〇〇における・・・	日 臨子・中 臨雄	

3. 締め切りおよび送付方法

- ・締め切りは、平成28年4月15日
 - ※会員業績については編集作業の都合上締め切り後の到着分は次号になります。
- ・送付方法
 - 封筒に「会誌らぼ 研究論文または会員業績原稿在中」と明記し、愛臨技事務所宛に送付してください。

広報部からのお知らせ

広報部では会誌「らぼ」の掲載内容について引き続き検討しています。会員の皆様の御意見をお聞かせください。ご意見は下記メールアドレスにお願いいたします。

Mail: gym.1172@gmail.com

第40回生理検査研究班基礎講座に参加して

愛知医科大学病院 山羽 亜実

平成27年12月6日、名古屋市立大学で開催された基礎講座「明日から使える脳波の知識を学ぼう」に参加し、脳波の基礎から電極装着のコツなどについて拝聴しました。

私はルーチン業務において乳幼児や意識のない患者さんなど多岐にわたる患者さんの脳波検査に携わっています。なかでも乳幼児の脳波検査では、電極を装着してもすぐに外れてしまい苦勞していました。しかし、今回の講習ではマネキンを使用して、装着した電極を包帯で固定することにより電極のズ

レを防止する方法や、臥位でも正確で効率よく電極を装着する方法を学ぶことができ、今後の業務において大変有意義なものでした。また、他施設の検査方法を拝見し、話を聞くことができたことは、自身の技術の幅を広げる貴重な経験となりました。臨床的知識の復習も含め、今回学んだことを自施設で生かし、臨床の現場に還元できるよう努力したいと思います。そして、患者さんと医師をつなぐ臨床検査技師として日々ステップアップしていきたいと考えています。



《愛臨技生涯教育認定登録団体研究会のご案内》

第57回 愛知県糖尿病療養指導研究会 学術講演会

テーマ：糖尿病の運動療法とノルディックウォーク
日時：平成28年3月13日(日) 13:00～16:20
場所：名古屋大学医学部附属病院
中央診療棟3階講堂

教育講演

「糖尿病と運動療法」

名古屋大学大学院医学系研究科 総合診療医学分野
佐藤 寿一 先生

講演・実技

「糖尿病のためのノルディックウォーク」

(社)全日本ノルディックウォーク連盟公認指導員

木崎 秀臣

★本講演会は、「日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会」として第1群1単位、第2群1単位が認定予定です。どちらかを選択してください。

【参加費】 愛知県糖尿病療養指導研究会会員無料、その他参加者1,000円

平成27年度 愛知県臨床検査精度管理調査報告会および特別講演会のお知らせ

日 時：平成28年3月12日(土) 14:00～17:00
会 場：名古屋第一赤十字病院 東棟2階 内ヶ島講堂
内 容：平成27年度 愛知県臨床検査精度管理調査報告会および講演会

1) 開会式 (14:00～14:15)

- (1) 愛臨技会長挨拶
- (2) 来賓挨拶

2) 各検査部門別報告 (14:15～15:45)

- | | |
|--------------|-------------|
| (1) 事務局総括 | (6) 生理検査部門 |
| (2) 臨床化学検査部門 | (7) 輸血検査部門 |
| (3) 免疫血清検査部門 | (8) 微生物検査部門 |
| (4) 血液検査部門 | (9) 細胞検査部門 |
| (5) 一般検査部門 | (10) 病理検査部門 |

要点を簡潔にまとめた形式で報告を行います。詳細な報告は各研究班研究会および総括集を参照してください。先着順となりますが、参加者には総括集を配布いたします。

3) 特別講演会 (16:00～17:00)

テーマ「ISO15189を受審して」

講師：刈谷豊田総合病院 診療技術部 臨床検査・病理技術科 中村 清忠 技師

独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター統括診療部 岩尾 文彦 技師

ISO15189は臨床検査室の品質マネジメントシステムとして今後導入を検討していく施設が増えると思われます。今回は2施設から受審の経験談などをお話いただきます。多数の参加をお願いいたします。



基礎教科：20点

主 催：愛知県臨床検査技師会
共 催：愛知県医師会・愛知県病院協会
愛知県臨床検査標準化協議会

『組織強化セミナー』

主催：日本臨床衛生検査技師会

共催：愛臨技、国臨協東海北陸支部

平素は、当会の事業活動にご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。日本臨床衛生検査技師会では事業の一環として「組織強化」に取り組んでおります。超高齢化社会の到来に向けて、厚労省は持続可能な社会保障制度の確立を図るため、2025年に向けたロードマップで、地域連携、地域包括ケアシステム制度を構築し、実現に向けた関係法規の改正や新たな政策を打ち出し、「病院完結型」の医療から、地域全体で患者を支える「地域完結型」の医療へと大きく舵を切ろうと様々な改革を進めています。このような状況を踏まえ、「職能団体」として、広く会員の皆様方に情報提供し、医療業界における臨床検査技師の今後のあるべき姿を考えていただく機会となればと考えております。

また、若手・中堅技師にも参加して頂きたく、アサーティブコミュニケーション手法について企画致しました。これは、自他共に尊重し合いながら人間関係を築く方法で、1970年代のアメリカの女性解放運動において蓄積された理論を土台として発達してきました。アサーティブ（主張）であるという事は、自分の意見を押し通す事ではなく、自分の意見を誠実に率直に表現し、同時に相手の意見を尊重する事が求められることでお互いがWINWINなコミュニケーションを構築する方法です。

つきましては、下記の要領で「組織強化セミナー」を開催致しますので、多数の方々のご参加をお願い致します。

記

日時：平成28年4月9日(土) 午後15時～17時30分

場所：名古屋医療センター特別会議室

講演1

座長：岩尾 文彦 愛臨技組織部長

「アサーティブコミュニケーションについて」

演者：中北薬品株式会社マナーインストラクター部 三上 裕子

講演2

座長：梶山 広美 愛臨技会長

「医療情勢と臨床検査技師の今後のあるべき姿について」(60分)

演者：宮島 喜文 (または日臨技担当理事)

講演会

病理細胞検査研究班

基礎教科：20点

日時：平成28年3月5日(土) 15:00～17:00

場所：(株)カーク本社

名古屋市中区丸の内3-8-5

テーマ：精度管理報告

講師：「精度管理報告 病理部門」

名古屋大学大学院

橋本 克訓

「精度管理報告 細胞部門」

西知多総合病院

吉本 尚子

「Papanicolaou染色の染色結果のコントロール法」

西知多総合病院

角屋 雅路

司会：西尾市民病院

中村 広基

内容：本年行なった精度管理について、病理部門では、チールネルゼン染色サーベいの集計結果、細胞診部門は、フォトサーベいの解説および集計結果をお伝えします。また、評価対象外で行ったパバニコロウ染色精度管理の意義について、講演を行います。多数の参加をお待ちしております。

AiCCLS

愛知県臨床検査標準化協議会

通信 (第39回)

愛知県臨床検査標準化協議会（Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization : AiCCLS）は、愛知県下の医療施設への臨床検査標準化の啓発活動を軸とした質の高い検査結果の共有維持を目的として、活動しています。

今回は、新しく発刊された刊行物、「輸血検査における標準手順書 第2版」についてご紹介いたします。

医療機関にとって、医療事故を防止する安全対策は、ますます重要となっています。輸血療法は、輸血過誤を未然に防ぐために輸血検査の安全性と質の向上が必要です。そのため、第1版から質の向上を目的として、第2版のガイドラインを作成しました、是非ご活用ください。今回は“血液型検査 オモテ・ウラ検査不一致時の検査の進め方”を抜粋しました。

詳しい内容、購入方法については、公益社団法人 愛知県臨床検査技師会HPの臨床検査標準化情報をご覧ください。

(AiCCLS：愛知県臨床検査標準化協議会)

Ⅱ 血液型検査

3. オモテ・ウラ検査不一致時の検査の進め方

